

月刊

ENGO

7月号

2012年7月1日

カトリック大阪大司教区ENGOプロジェクト

発行責任者：松村繁彦

連絡先：TEL：090-5258-5704

(平日 18時～21時)

FAX：06-7494-9845

e-mail: engo@osaka.catholic.jp

「一つの体、多くの部分」 ～小林聖心女子学院での講演より～

5月24日(木)、小林聖心女子学院
中学校・高等学校において「一つの
体、多くの部分・私たちにできるこ
と」というテーマでENGOプロジェク
トの春名神父が講演を行いました。

約600人が参加した講演の中で、
震災発生当日の状況や、被災地の現
状、ボランティアの活動状況などを
紹介しながら、一人ひとりに何がで
きるのかを考えました。



講演する春名神父

私たちの体は一つでも、多くの部
分から成り立っている。このパウロ
の言葉から、日本という国も多くの
部分(都道府県、各地方)から成り
立っており、私たちの体の一部分が
傷つけば全身全霊をかけてその傷を
治すように、日本の国の一部分が傷
ついたときもそれと同じように全身
全霊をかけてその傷ついた部分を直
すようにしていく必要があること、

そのために自分に何ができるのか
を考えること、そして思いついたら
それを実行することが話されました。



真剣に聞き入る生徒たち

講演終了後、生徒たちから「なぜ
復興が遅れているのか」、「阪神淡路
大震災との違いは何か」、「今被災地
で問題になっていることは何か」な
ど活発な質問もありました。

最後に生徒代表により「自分にで
きることをしっかりとしていきたい」
と決意が語られました。

「第2回 東日本大震災仙台教区 復興支援全国担当者会議」

2012年6月11日(月)～13日(水)
にかけて「第2回東日本大震災仙台
教区復興支援全国担当者会議」が仙
台教区カテドラル元寺小路教会にお
いて開催されました。

参加者は5つのコース(福島県南
部・福島県北部・札幌教区宮古ベ-

ス・長崎管区大槌ベース・大阪管区大船渡ベース)に分かれて視察を行いました。



大船渡ベースで活動報告を聞く

視察では被災当時の状況、現在抱えている課題などを聞き、現地の人たちからは「支援物資をもらえることはありがたいが、それを配ることが個人商店の復興の妨げになっている。ジレンマを感じている」といった生の声も受け取りました。

参加者たちは12日夜仙台に再度集合し、翌日には仙台カテドラルでシンポジウムが行われ



シンポジウムの様子

れました。この中では「支援を継続的に行う必要性」、「ボランティアが行っているケアを地域の人が行うように移行していくこと」、「ボランティアに来る人たちが被災者から勇気をもらっている」といった意見が出され活気のあるものとなりました。

午後からは仙台教区の平賀司教司式によるミサがささげられ、説教の中で

カリタスジャパン担当の菊池司教は信仰年に関連して「何もなくなったところで信仰を生きる大切さ」について語られました。

お知らせとお願い

大船渡ベースでは映画鑑賞会の計画を企画しています。

大船渡には大阪や神戸と違って遊戯施設がありません。できれば、体を動かすような施設ではなくても、気持ちがりフレッシュできるような方法はないかと考えて、これから定期的にベース内で映画の上映を行うことにしました。

もしみなさまのお家に眠っている映画やドラマのDVDがございましたら、ぜひENGOプロジェクトまでご寄附または連絡を下さい。よろしくお願いいたします。

※コピー版禁止!



パネルの貸出し

ENGOは被災地で撮った写真のパネルを貸出しています。

個々のグループで勉強会などを行うときに必要でしたお気軽に申し出ください。数に限りがありますが、お貸しいたします。



(B4版28枚
セット)

